クリニカルパスウェイ
乳房(部分)切除術＋センチネルリンパ節生検を受ける患者様へ

2017年4月作成
2025年12月改訂
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　患者氏名　@PATIENTNAME

	外科外来	入院日・手術前日	手術当日		術後1日目	術後2～3日目	術後4日目以降	退院後の生活
日時	月　日	月　日	月　日　時頃		月　日	月　日	月　日	月　日
目標	□手術に向け体調を整えましょう □疾患、術式を理解した上で術式選択をしましょう	□手術の準備をしましょう	**＜手術前＞** □安全に手術が受けられるよう準備をしましょう	**＜手術後＞** □身体の回復を促しましょう	□身体の回復を促しましょう	□傷の回復を促しましょう	□傷の回復を促しましょう	□診察後、午前中に退院となります
食事	□特に制限はありません □栄養バランスのとれた食事を心がけてください 	□経口補水又は水を 20時～6時まで飲水行います。 □21時以降は絶食となります。 ＊うがい、歯磨きはできます。	□朝6時から絶飲食 ＊うがい、歯磨きはできます。 □午後手術の方は看護師へ確認してください。□絶飲食です	□絶飲食です 	□朝から水分摂取可能です □昼から常食(必要時制限食)を開始します 	□常食 □必要時制限食となります	□常食 □必要時制限食となります	□特に制限はありません
活動	□特に制限はありません	□特に制限はありません	□特に制限はありません □手術着に着替えてください	□ベッド上安静です	□手術した方の腕は、肩の高さより上に挙げないでください	□リハビリテーションを開始します(リハビリパンフレットを参照してください)	□手術5日目以降で、手術部位の管が抜けたら、積極的にリハビリテーションを行います	□特に制限はありません □リハビリテーションは手術から半年間続けてください
検査処置	□手術に必要な検査を行います(採血・尿検査・レントゲン・呼吸機能検査・心電図等) 	□必要時、他科の診察があります □手術する側の手の甲に印をつけます □手術前日にアイソトープ検査があります	□手術着に着替えます	□尿道に管が入る場合があります □酸素投与を行います	□尿を出す管を抜きます □回診で傷を覆っているガーゼを外します □採血・レントゲンがあります 	□手術部位の管(ドレーン)抜去の目安は、**30ml/日以下**の日が2日以上連続した時です(医師の判断で変わることもあります)		□外来予約票をお渡しします □傷のテープは自然に剥がれるまで、そのまま貼っていてください
薬	□手術前に休薬する薬はがある場合は期日を守ってください □市販薬・サプリメントは手術に影響するものがあるため、2週間前より服用しないでください □入院時に常用薬をお持ちください	□入院後、薬の内容を確認しますのでご持参ください □常用薬は医師の指示に従い、内服してください □薬剤師から薬の説明があります	□常用薬は医師の指示に従い、内服してください 	□常用薬は中止 □抗生剤の点滴をします □適時、痛み止めや吐き気止めの点滴をします	□常用薬は医師の指示に従い、再開します □抗生剤は朝は点滴、昼からは内服となります。 □痛み止めの点滴があります。	□痛み止めは内服となります。		
清潔	□特に制限はありません □手と足の爪は切ってください。マニキュアやネイルは必ず落としてください。	□入浴してください	□入浴はできません	□適時うがいをして、口腔内を清潔にしてください	□入浴はできません。看護師がお手伝いして清拭をします。	□下半身シャワーや洗髪ができます □必要時看護師が介助しますので、お声掛けください		□手術部位の管(ドレーン)を抜去した翌日からシャワーができます。外来で傷の状態をみて入浴ができるようになります。 □創部は泡立てた石鹸で優しく洗ってください
指導説明	□入院・手術についての説明があります □喘息やアレルギーがある方は医師・看護師に知らせてください □喫煙されている方は、術後痰が多くなりやすく、傷の回復に影響を及ぼす可能性がありますので禁煙に努めてください □リハビリパンフレットを受け取って下さい。 □手術の際に貴金属は全て外します。指輪など外れるか　ご確認ください。	□病棟案内があります □看護師より手術前後の説明があります □麻酔科医師が診察し、全身麻酔についての説明があります。 **＜入院時必要物品＞** □常用薬 □同意書一式 □この説明書 □日常生活物品 □リハビリパンフレット		□術後医師から説明があります。 ＊御家族は病棟のロビーで待機をお願いします。 席を外す場合は看護師へ声をかけてください。 □手術部位の管(ドレーン)を引っ張らないように注意しながら、寝返りをうつことができます　身体で管をつぶしたりしないよう気をつけてください	□手術部位の管(ドレーン)を引っ張ったり、身体の下に巻き込んだり、臀部で踏んだりしないよう気をつけてください	□看護師からリハビリテーションについて説明があります □管(ドレーン)を引っ張ったり、身体や臀部で踏まないよう注意してください	□積極的にリハビリテーションを進めてください □腋窩リンパ節郭清を施行された方は、リンパ浮腫予防指導があります (別紙参照)	□創部に発赤や腫脹、熱感、疼痛がある場合は、電話連絡の上、外来受診してください □乳房補整用品の紹介を希望される方は看護師にお声掛けください。使用開始時期と購入方法についてご説明します (製品の見本もあります)

《連絡先》 東京慈恵会医科大学西部医療センター　　TEL:03－3480－1151